

火災・警戒統計



火災統計

火災件数

平成28年中における火災件数は47件で、前年と比べ13件の減少となり、昭和40年以降で過去3番目に少ない火災件数でした。

火災件数を種別ごとに見ますと、建物火災26件（55.3%）、林野火災0件、車両火災9件（19.1%）、その他火災12件（25.5%）でした。

住宅用火災警報器の奏功事例

平成28年中に小牧市内では、住宅用火災警報器が鳴動したことにより火災に至らなかった事例が5件、火災にはなったものの被害を最小限にとどめることができた事例が1件ありました。

住宅防火対策として、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、小牧市では、設置率向上と維持管理促進のため、一般家庭の防火査察、防火広報など、あらゆる機会を捉え、普及啓発活動を実施しています。

火災原因

出火原因別に見ますと、「たばこ」及び「こんろ」が6件（12.8%）ずつと最も多く、続いて「放火」が4件（8.5%）となりました。

「放火」による火災については、前年と比べ8件の減少となっていますが、全国的には依然として多く発生していることから、地域が一体となり「放火されない環境づくり」を構築することが必要とされるところです。

火災による損害及び死者・負傷者

火災による損害額は、20,325千円で、前年と比べ51,452円の減少となりました。

火災による死者はなく、負傷者は8名で前年と比べ、4名の減少となりました。